

令和5年度 学校評価[教職員・保護者・児童]アンケート結果について(報告)

梅花の候、保護者の皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、2学期後半のご多用の折に学校評価アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。その結果がまとまりましたので、下記のとおりご報告いたします。同様の内容につきまして、児童と教職員のアンケート結果と考察・改善策等、学校運営協議会での協議内容等についても、併せてご覧いただきたく、お知らせいたします。裏面には、自由記述の中から、質問事項への回答を掲載いたします。皆様からいただきました貴重なご意見を生かし、児童の様子をもとに、指導・改善してまいります。

つきましては、保護者の皆様には、今後も本校の教育活動の充実のために、ご支援とご協力をいただきますよう、よろしくお願いたします。

なお、自由記述の詳細については、紙面の関係で、学校ホームページへの掲載にて、ご紹介とさせていただきます。ご了承ください。

記

○ 4択「1 思わない」「2 あまり思わない」「3 まあ思う」「4 とても思う」※平均値算出

実施)令和5年10月下旬

対象)全教職員・全保護者・全児童

○ 21は、吹上ブロック小中一貫教育共通項目

B) BEST5 W) WORST5

差が±0.5以上の項目

質問項目 (略式・形式不統一)			4 択平均値 / BEST5-WORST5				職・保・児童 差		
			教職員	保護者	児童	職一保	職一児	保一児	
1	全体	児童は 学校が楽しい	3.35	3.40	B	3.59	-0.05	-0.23	-0.18
2	全体	児童は めあてをもち、それに向かって努力	3.12	2.96		3.25	0.16	-0.14	-0.30
3	全体	児童は 自信や自尊感情の育成	3.06	3.04		3.35	0.01	-0.29	-0.31
4	全体	学校は 全体に活気があり、明るくいきいきした雰囲気	3.59	3.41	B	3.55	0.18	0.04	-0.14
5	教職員	教職員は 児童の話を傾聴	3.71	3.39		3.76	0.32	-0.06	-0.38
6	教職員	教職員は 必要に応じて善悪の指導	3.76	B 3.40	B	3.85	0.36	-0.09	-0.45
7	教職員	教職員は 授業に熱心	3.71	3.39		3.75	0.32	-0.05	-0.37
8	教職員	教職員は 家庭学習指導	3.35	3.23		3.72	0.12	-0.37	-0.49
9	教職員	教職員は コンピュータや情報通信技術の積極的活用	3.47	3.31		3.67	0.16	-0.20	-0.36
10	教職員	教職員は 学級づくり(経営)への努力	3.76	B 3.39	B	3.87	0.38	-0.11	-0.49

【考察・改善策等】

「教職員の児童への関わり、学習指導、児童指導、学業指導について5-10」の項目では、児童は3項目でベスト(BEST)の高い評価しており、さらに「6教職員は、よいところは認め、だめなことはだめと、しっかり指導している。」の項目では、3者そろって高評価でした。教職員の取組を児童が高く評価している点は、教職員と児童の関係性と指導の方向性、取組が好ましい相乗効果をもたらしている成果であると考えます。

「8教職員は、宿題・復習・自主学習など家庭学習について、しっかり指導している。」でご指摘いただいた児童の意欲向上については、学年の発達段階に応じた効果的で分かりやすい取組を日常指導や学習強調週間等で実践していきます。課題等に取り組む児童の意欲向上を図るため、適時、意図的に「個人に」声掛け・称賛し、そして「全体に」きかけ作りや気付きを促す取組をします。また、学習強調週間前に、コーナーを設けたり掲示したりする等、自学ノートを互いに紹介し合う機会を設け、家庭学習への意欲向上を図っていきます。

11	学習	児童は 先生や友達の話への傾聴	3.13	3.24		3.48	-0.11	-0.36	-0.25
12	学習	児童は 授業中、自分の思いや意見の伝え合い・発表	3.13	3.03		3.18	0.10	-0.06	-0.16
13	学習	児童は 授業内容をよく理解	2.94	2.90		3.25	0.03	-0.31	-0.34
14	学習	児童は 本をよく読んでいる	2.94	2.65	W	3.32	0.29	-0.38	-0.67
15	生活	児童は 学校や地域で元気にあいさつ	2.81	W 3.07		3.25	-0.26	-0.43	-0.18
16	生活	児童は 場に応じた言葉づかいや返事	2.71	W 3.01		3.32	-0.30	-0.62	-0.32
17	生活	児童は 分担された仕事への取組	3.29	3.01		3.60	0.29	-0.30	-0.59
18	生活	児童は きまりやマナーの遵守	3.12	3.21		3.43	-0.09	-0.31	-0.22
19	友達関係	児童は なかよしの友だちがいる	3.35	3.55	B	3.82	-0.20	-0.47	-0.27
20	友達関係	児童は 互いを思いやり、穏やかな気持ちで生活	3.24	3.20		3.50	0.03	-0.26	-0.30
21	友達関係	児童は 友達のよさや努力を互いに認め合う	3.57	3.40	B	3.50	0.17	0.07	-0.10

【考察・改善策等】

学習では、「12わたしは、授業中、先生や友達に自分の意見や考えを伝えたり発表したりしている。」ことに対してワースト(WORST)評価をしており、苦手意識をもっています。評価は、平均3.18(79.55%)で昨年度より評価が上がっている学年もありますが、上学年ほど苦手意識が強くなる傾向が見られます。自分の意見や考えを伝えたり発表したりすることに自信をもたせるために、1) 少人数での話し合い活動を意識的に取り入れ、安心して伝え合う機会を多く設ける。2) メタモジの付箋機能等を活用し、安心して互いの考えや思い等を伝え合う機会を増やす。3) ワールドグループでの話し合い活動を通して、積極的に伝え合うことの意義や大切さを発達段階に応じて学ぶ機会とする等を実践します。

「14児童は、本をよく読んでいる。」の項目では、保護者はワースト評価[2.65]です。図書室利用の方法等を変更したことにより、来室回数は上学年になるほど減る傾向にありますが、図書委員会主催で読書企画を実施したり、定期的に「うち(家)読」を実施したりするなど年間を通しての読書指導は充実しています。特に今年度は、貸出冊数よりも読書の質の向上を重視して取り組んでいます。児童には、家庭で読書する機会を設定させるとともに、隙間時間を効果的に活用しながら読書指導を充実できるよう取り組んでいます。

「15児童は、学校や地域で、元気にあいさつをしている。」「16児童は、場に応じた言葉づかいや返事をしている。」の項目では、教職員の評価がワースト(WORST)であり、さらに教職員と児童の評価に大きな差(0.43/0.65)があります。あいさつ指導では、校内における取組として、あいさつタイム等を充実させ、継続してあいさつに対する意識付けを図っています。また、校外での取組として、登下校時に、交通指導員や旗当番の保護者、下校見守りボランティアの方々等に積極的なあいさつができるように指導し、取組の様子を確認しています。お世話になっている方々に校外でも進んで児童があいさつできるよう各学年の発達段階に応じた継続的指導を行います。

※紙面スペースの都合でこちら(表面)に記述(項目・数値等は、裏面)

「23規則正しい生活習慣」「26望ましい食習慣」「27姿勢への注意」の3項目で、児童はワースト(WORST)評価です。そして、「27児童は、自分の姿勢に気がつけている。」は、3者(教職員・保護者も)ともワースト評価となっています。まず、基本的な生活習慣に関わる3項目に問題があると児童自身が捉えていることは、継続指導をするうえで重要だと捉えています。生活に関わる身近な項目のため、保護者の皆様の見方がより厳しいと感じています。学校での児童への直接的な生活指導と家庭への啓発、家庭での望ましい習慣づくり、児童の意識改革等を、相互に関連させながら粘り強く進められるよう長期的な視点をもって取り組んでいきます。

質問項目 (略式・形式不統一)			4 択平均値 / BEST5-WORST5			職・保・児童 差					
			教職員	保護者	児童	職一保	職一児	保一児			
22	健康安全	児童は 進んで体力づくり	3.13		3.04		3.37		0.10	-0.24	-0.33
23	健康安全	児童は 規則正しい生活 早寝(～22:00)・早起き・朝ご飯	2.80	W	3.30		3.02	W	-0.50	-0.22	0.28
24	健康安全	児童は 交通ルールの遵守	3.31		3.44	B	3.74		-0.13	-0.42	-0.30
25	健康安全	児童は 災害時の正しい身の守り方・避難の仕方	3.63		3.15		3.82	B	0.48	-0.19	-0.67
26	健康安全	児童は 好き嫌いをなく食べている	2.82		2.82		3.13	W	0.00	-0.31	-0.31
27	健康安全	児童は 自分の姿勢に気をつけている	2.73	W	2.46	W	2.98	W	0.27	-0.25	-0.52
28	家庭	児童は 家庭学習への熱心な取組	2.87		2.72	W	3.32		0.15	-0.45	-0.60
29	家庭	児童は ゲーム・インターネット活用時にルール遵守	2.64	W	2.75	W	3.25		-0.10	-0.60	-0.50
30	家庭	家庭 週1度、学校ホームページ閲覧	3.00		2.47	W	2.44	W	0.53	0.56	0.04
31	家庭	児童は 学校生活について、家でよく会話している	3.00		3.22		3.49		-0.22	-0.49	-0.27
【考察・改善策等】 「28家庭学習への熱心な取組」「29ゲーム・インターネット活用時のルール遵守」の項目で、保護者と児童の評価に大きな差があります(0.60/0.50)。インターネット(動画視聴・オンラインゲーム)の使用には、課題を感じている教職員と保護者が増えています。そこで、家庭におけるインターネット利用について学年懇談会で話題とし、事例についてまとめた資料を配付して、児童の実態を理解してもらうとともに、家庭でのルール作り等を啓発していきます。また、学習強調週間(メディアとの関わり方)、長期休業に向けた過ごし方指導(児童指導)で、定期的にインターネットとの関わりについて指導し、家庭への啓発も合わせて行います。さらに、情報モラル、ネットトラブル等対処法について、親子で学ぶ機会(高学年)を設ける予定です。											
32	学校運営	学校は 教育方針作成時、児童・保護者や地域の意見聴取	3.71		3.21		—		0.50		
33	学校運営	学校は 各種計画、年間行事等を適切に設定・実施	3.71		3.39		—		0.31		
34	学校運営	学校は 保護者や地域との連携・協力し、郷土愛を育成	3.65		3.34		—		0.30		
35	学校運営	学校は 積極的な情報発信・提供	3.82	B	3.43	B	—		0.39		
36	学校運営	学校は 校舎内外の環境美化に努力	3.53		3.36		—		0.17		
37	学校運営	学校は いじめの未然防止に適切な取組	3.88	B	3.20		—		0.68		
38	学校運営	学校は 児童の様々な問題や訴えに迅速・適切な対応	3.88	B	3.29		—		0.59		
39	学校運営	学校は 個に応じた学習指導を適切に実践	3.56		3.18		—		0.39		
【考察・改善策等】 「35積極的な情報発信・提供」「37いじめ未然防止への適切な取組」「38児童の様々な問題や訴えに迅速・適切な対応」の項目で、教職員がベスト(BEST)の評価です。35は、保護者もベストの評価です。37と38は、教職員と保護者の評価に大きな差(0.68/0.59)があります。学校における諸問題への初期対応は、保護者の皆様にはその過程が少々見えづらい側面であるものの、これからも重視しながら迅速かつ組織的に継続していきたいと考えています。											

【自由記述の中の質問事項への回答】

※紙面の関係で、内容の要約・語尾等の修正をさせていただきましたので、ご了承ください。また、自由記述の詳細については、学校ホームページに掲載させていただきますので、どうぞご覧ください。

1 学習内容の定着について

- ・個々の学習の理解度を把握した指導をお願いしたいです。
- ・塾で度々器の使い方がわかってないと指摘され、指導をやり直してくれました。学校でわからなくても言えずに、そのままになってしまうことが多いようです。

【回答】

授業では、単元ごとに学んだことを確認しながら学習を積み重ねています。学習のまとめとして、テスト等を実施し学習の達成度を確認しています。その確認をさらに充実できるよう指導を工夫します。また、学習中にはできていたのに時間が経つと曖昧になってしまうこともあります。学期末等に学んだことを繰り返し振り返れるよう指導の充実を図っていきますので、ご家庭でも復習に取り組む際お声掛け等よろしくお願いたします。

2 連絡帳の活用について

- ・子供の連絡帳では伝わらないことが多々あります。子供に聞いても先生がそう書いていたからと、意味を理解していないことがあります。低学年のうちは補足が必要だと感じています。
- ・連絡帳を全く書かない学年があり、諸連絡や宿題、配布物などについて親に分からず不安です。

【回答】

担任が、学年の発達段階や児童の実態に応じた取組をしていますが、保護者の皆様には内容が十分お伝えできない部分があったこと、申し訳ございません。補足を含めて、簡潔で分かりやすいお伝えの仕方を試みていきます。さらに、お手数ですがご不明な点や疑問点について、可能な範囲で担任等にお問合せくださるよう、お願いたします。

3 学習強調週間について

- ・ノメディアデーが1週間ありますが、長いと感じます。今の時代、親にとっても携帯は、必要不可欠なものになっています。やり方を変えていいのではないのでしょうか。夜8時以降は控える、ゲームは1時間以内など、制限を変える方法のほうが、子供もやりやすいと感じます。

【回答】

児童が家庭学習でタブレット端末を活用することは、問題ありません。1日数時間に及ぶ(オンライン)ゲームや動画・テレビ視聴をできる範囲で減らし、読書や家族の団らん等の時間として活用を試みてほしいという趣旨の取組です。ご家庭の都合等もあると思いますので、できる範囲での取組へのご協力をお願いいたします。

4 交通安全教室について

- ・3年生から、自転車を1人で乗ってもよいとなっていますが、なかなか交通ルールを教えるのは難しいので、自転車講習を3年生の一学期に設けるのはいかがでしょうか。ほんとは乗り方が危なく、事故にあった中学生を目撃したこともあります。中学生でさえ飛び出すのですから、小学生はもっとだと思います。校庭を使って、練習する時間があると嬉しいです。親子学習でもいいと思います。

【回答】

ご提案ありがとうございます。児童が安全な自転車の乗り方について必要な知識と技能を身に付けることは大切です。本校でも、3年生以上を対象に自転車の乗り方について学ぶ交通安全教室を次年度予定しています。しかしながら、交通安全にかかわる行事は複数ありそのすべてを毎年実施することは難しいため、交通安全教室は隔年実施と位置付けています。行事の精選にご理解いただき、子どもたちの安全を守るために一緒に自転車に乗る機会を設けるなど配慮くださるようお願いいたします。

5 校内持久走大会について

- ・持久走大会は男女別がいいと思います。低学年のうちはいいかもかもしれませんが、やはり高学年になると、差が歴然と出てきます。恥ずかしさもあると思いますので、やはり男女別は必要かと思えます。差別ではなく、区別です。

【回答】

大会実施方法へのご提案ありがとうございます。学年単位で練習から取り組みやすいこと、男女の走力に着しく大きな差が見られないことをメリットとして現在の学年ごとの実施を継続したいと考えています。大会なので走力による競争も大切な要素ですが、それ以上に、ちょっと大変なことや自分の得意でないことに対して練習や大会で最後まで力を出し切ろうと取り組む姿勢を重視し、称賛して児童の成長の糧としていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。